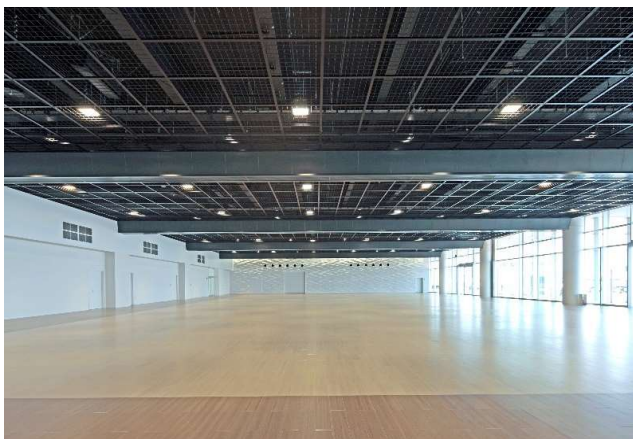


金沢港クルーズターミナル



金沢港クルーズターミナルの整備(老朽化したみなと会館の建替)は、金沢港における近年の急激な環境変化(クルーズ船寄港数とコンテナ貨物取扱量の増加)に対して金沢港の機能強化を図るため作成された「金沢港機能強化整備計画」のひとつである。金沢港における「クルーズ乗船客の利便性向上」「新たな賑わいの創出」を目的に行われた。

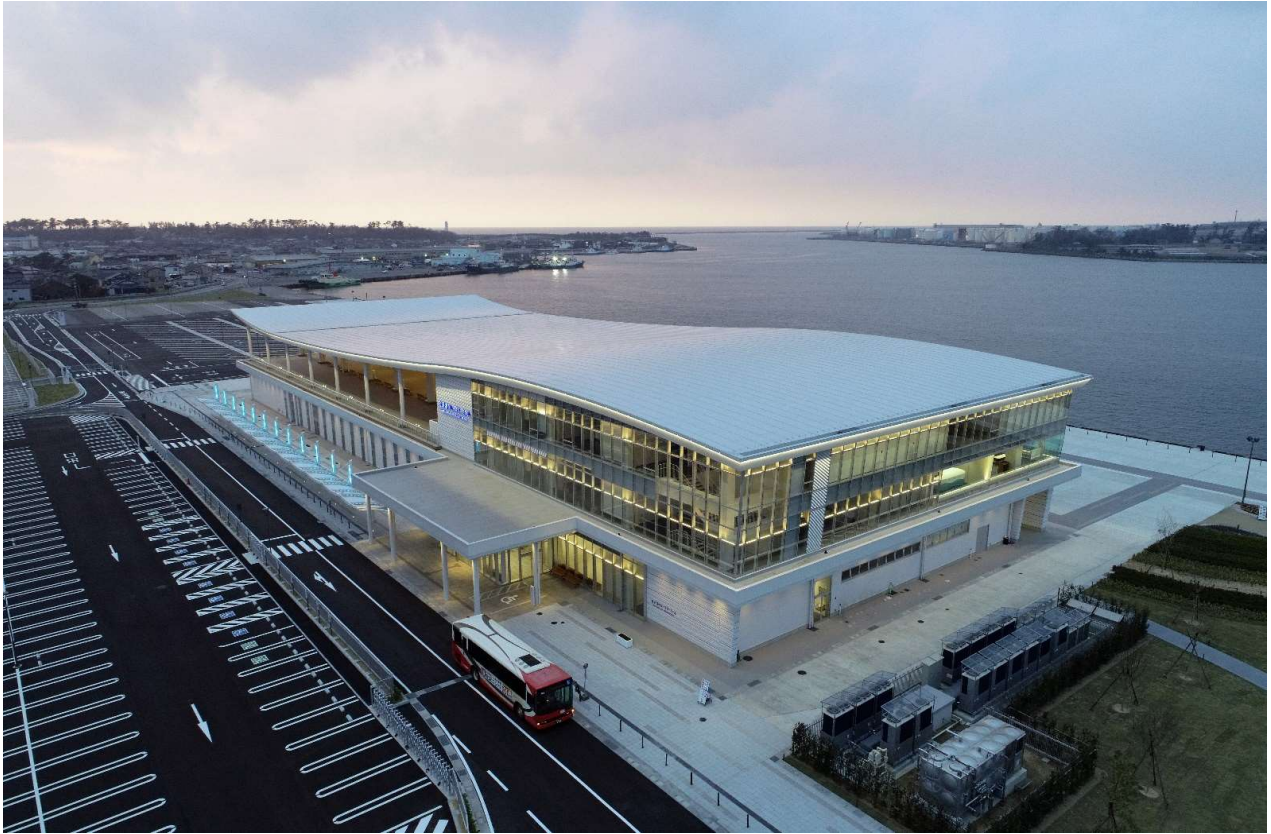


無柱大空間のCIQ※



海側全面ガラスで金沢港を一望


※CIQとは、税関(Customs)、出入国管理(Immigration)、検疫(Quarantine)の略。国境を越える交通および物流において必要とされる手続き、あるいはそれらを執り行う機関または施設を指す。



計画サブタイトル: 金沢港の新たな海の玄関口

外観サブタイトル: おおらかな波をイメージした外観



 おもてなしの心でお迎えする待合エリアに「海」をテーマとした伝統工芸品を柱に設置

DATA
⑥業務事業施設
金沢市無量寺町地内
平成30年9月～令和2年2月
本体
鉄骨造: 地上3F
延床面積10,634㎡
キャノピー
鉄骨造骨組膜構造: 地上1F
延床面積148㎡